

# 都市再生整備計画

ひがしだ  
東田地区(第2回変更)

ふくおか きたきゅうしゅう  
福岡県 北九州市

令和5年3月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォーカブル推進事業	<input type="checkbox"/>

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	福岡県	市町村名	北九州市	地区名	東田地区	面積	137 ha
計画期間	令和3年度～令和7年度	交付期間	令和3年度～令和7年度				

## 目標

大目標 集客拠点に相応しく、来訪者に魅力的な都市環境の形成  
 目標1 観光施設、教育・文化施設、大規模商業施設などが集積する集客拠点の中核に相応しいゲート空間の形成  
 目標2 施設を歩いて巡りたくなる公共空間の形成

## 目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の考え方を含む)、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)  
 文化・観光施設等が集積する当地区では、現在(平成30年度から5年間で)「東田ミニアージュパーク創造事業」による文化観光を推進しており、2022年春には、新たに新科学館や大型商業施設がオープン予定で、さらなる地区来訪者の増大が見込まれる。  
 これを機に官民が連携し公共空間の魅力向上を図るとともに、居心地よく歩きたくなる環境を整備し、観光交流拠点の中核に相応しい魅力ある都市環境の形成を推進する。

## まちづくりの経緯及び現況

## 【まちづくりの経緯】

- 明治34年の官営八幡製鉄所(現日本製鉄㈱)の操業後、関連工場などの立地を作つて我が国の近代産業を支えた北九州地域の「工業都市」の中核となる。
- 産業構造転換の影響にて製鉄所の遊休地にアミューズメント施設スペースワールドが平成2年に開業。
- 科学・歴史・産業・自然・環境に関する博物館群を整備する「SHINE構想」が平成5年に策定され、博物館群が整備される。
- 東田地区区画整理事業によって当該地区的土地利用転換がなされ、博物館群の整備や新駅が整備される。
- スマートコミュニティ創造事業、水素社会実験など、先端技術のまちづくりを推進している。

## 【現況】

- 平成28年9月策定の「北九州市立地適正化計画」にて都市機能誘導地域に指定される。
- 平成27年7月に現存する官営八幡製鉄所閑産施設が世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」に登録される。
- 平成30年3月に改定の「都市計画マスタープラン」にて「地域拠点」「次世代産業拠点」「観光交流拠点」に位置づけられる。
- 文化庁「地域の美術館・歴史博物館を中心としたクラスター形成事業」の採択を受け、いのちのたび博物館を中心として東田地区とその周辺地域の施設が連携し、地域の活性化やインバウンドの取り込みにつなげる事業を実施。
- 旧スペースワールド跡地(平成29年12月閉鎖)において、民間事業者による大型商業施設が令和4年春に開業する予定。また、同施設エリア内に新科学館(市)が新設される予定。

## 課題

- 市内外から人を呼び込む「集客拠点」のボテンシャルを高めるため、集積する各施設の更なる魅力向上とともに、地区全体の魅力向上を図る必要がある。
- JRスペースワールド駅高架下及び駅前広場は、地区的ゲート空間としての魅力向上を図る必要がある。
- 文化施設群と大型商業施設とは東田大通りで分断され施設間連携が弱いことから、各施設をつなぐ居心地よく歩きたくなる公共空間の形成が必要である。

## 将来ビジョン(中長期)

- 「元気発信！北九州」プラン(平成20年12月策定・平成25年12月改訂)  
 広域観光施設や文化施設などの観光資源を活かし、多くの人が訪れる、楽しめ、学ぶことができるまちをつくる。
- 都市計画マスタープラン(平成15年11月策定・平成30年3月改訂)

## 【地域拠点】

- 世界の環境首都に相応しい先進モデル地区としてのまちづくりを進める。

## 【観光交流拠点】

- 新旧の産業が融合し、博物館等観光資源を生みた、多くの人が楽しみ、学ぶことができるまちづくりを進め。
- 観光資源や教育・文化施設などの質を高め、ビジュアルインダストリー(集客産業)の中核として多くの人が訪れるまちをつくる。

## 都市構造再編集中支援事業の計画

## 都市機能配置の考え方

- 本市は、「都市計画マスタープラン」において、相対的に人口や産業の密度や買い物の利便性が高く、都市基盤や公共施設などが充実する公共交通の利便性の高い区域を「街なか」(=居住誘導区域)とし、そのうち本市の中核として高次の都市機能の集積・維持・向上を図る地域を「地域拠点」と位置づけている。
- 「立地適正化計画」では、本市の人口が減少基調にあることから、既に都市機能や人口が集積している拠点やその周辺の交通利便性の高い既成市街地においてその集積の維持向上を進め、集約型の都市構造の形成を図ることとし、都市計画マスタープランに定める地域拠点を都市機能誘導区域に設定している。
- 都市機能誘導区域では、高次の都市機能を誘導し、商業施設等不特定多数の人が利用する大規模集客施設の立地誘導を図る。

## 都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

## 目標を量定化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
東田地区的観光客数	人/年	東田地区における観光客数	【目標1.2】交流人口増加、賑わい創出、拠点の魅力向上等を把握	727,000	R1	2,000,000	R7
東田地区来訪者の平均滞在時間	h/人	東田地区的来訪者の平均滞在時間	【目標1.2】交流人口増加、賑わい創出、拠点の魅力向上等を把握	1.2	R1	1.6	R7
歩行者通行量	人/日	東田地区の主要地点における歩行者通行量	【目標1.2】交流人口増加、賑わい創出、拠点の魅力向上等を把握	11,356	R2	13,000	R7

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【魅力あるゲート空間の形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化施設等を訪れるファミリーなど来訪者をワクワクさせる演出があるゲート空間の創出</li> <li>・新科学館の科学実験など文化施設群のアクティビティも実施可能な、来訪者が憩い楽しむことができるオープンスペースを確保</li> <li>・駅前ゲート空間とまちの繋がり強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■【基幹事業/高質空間形成施設】スペースワールド駅高架下魅力向上事業</li> <li>■【基幹事業/高質空間形成施設】スペースワールド駅前広場魅力向上事業</li> <li>■【基幹事業/高質空間形成施設】新科学館周辺景観整備事業</li> <li>■【基幹事業/高質空間形成施設】いのちたび博物館周辺公共空間再編事業</li> <li>■【基幹事業/高質空間形成施設】スペースワールド駅周辺EV・ES改修事業</li> <li>□【提案事業】事業効果分析業務</li> <li>□【提案事業】賑わい空間創出実証実験</li> <li>○【関連事業】(仮称)八幡東田プロジェクト</li> <li>○【関連事業】新科学館整備事業</li> <li>○【関連事業】東田ミュージアムパーク創造事業</li> </ul>
<p>【居心地がよく歩きたくなる公共空間づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東田大通り公園の魅力向上(潤いのある都市緑地の創出と、歩いて巡りたくなる回遊核となる文化ゾーンと商業ゾーンを繋ぐ公共空間の創出)</li> <li>・エリア全体の回遊性向上(来訪者に分かりやすく、歩いて巡りたくなるサイン(情報発信ツール)を整備)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■【基幹事業/公園】東田大通り公園整備事業</li> <li>■【基幹事業/地域生活基盤施設】ミュージアムパーク創造事業関連サイン整備事業</li> <li>○【関連事業】グリーンスローモビリティ事業</li> </ul>
<p><b>その他</b></p> <p>【官民連携事業】 東田ミュージアムパーク創造事業 ・官民の関係者からなる「東田ミュージアムパーク実行委員会」を組織し、自然史・歴史博物館を中心とした、地区内の文化施設等を連携させ、新たな魅力づくりやPRなどを予定している。</p> <p>【北九州市立地適正化計画】 ・北九州市立地適正化計画において、東田地区は都市機能誘導区域に設定され、新旧の産業が融合し、博物館等観光資源を生かした多くの人が楽しみ、学ぶことができるまちづくりを目指している。</p>	

#### 目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集中支援事業)

樣式(1)-④-1

交付対象事業費	909	交付限度額	454.5	国費率	0.5
---------	-----	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費			交付対象事業費	費用便益比B/C			
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分					
道路																		
公園	東田大通り公園整備事業	北九州市	直	1.34ha	4	7	4	7	140.0	140.0	140.0	140.0		140.0				
古都保存・緑地保全等事業																		
河川																		
下水道																		
駐車場有効利用システム																		
地域生活基盤施設	ミュージアムパーク創造事業関連サイン整備事業	北九州市	直	—	3	3	3	3	10.0	10.0	10.0	10.0		10.0				
高質空間形成施設	スペースワールド駅高架下魅力向上事業	北九州市	直	1,000m <sup>2</sup>	3	3	7	7	35.0	35.0	35.0	35.0		35.0				
	スペースワールド駅前広場魅力向上事業	北九州市	直	4,000m <sup>2</sup>	3	3	3	3	52.6	52.6	52.6	52.6		52.6				
	新科学館周辺景観整備事業	北九州市	直	100m	3	3	3	3	5.0	5.0	5.0	5.0		5.0				
	いのちのたび博物館周辺公共空間再編事業	北九州市	直	2,000m <sup>2</sup>	4	6	4	6	27.0	27.0	27.0	27.0		27.0				
	スペースワールド駅周辺EV・ES改修事業	北九州市	直	6基	4	6	4	7	626.0	626.0	626.0	626.0		626.0				
高次都市施設 地域交流センター																		
観光交流センター																		
まちおこしセンター																		
子育て世代活動支援センター																		
複合交通センター																		
誘導施設	医療施設																	
	社会福祉施設																	
	教育文化施設																	
	子育て支援施設																	
既存建造物活用事業																		
土地区画整理事業																		
市街地再開発事業																		
住宅街区整備事業																		
パリアフリー環境整備事業																		
優良建築物等整備事業																		
住宅市街地総合整備事業																		
街なみ環境整備事業																		
住宅地区改良事業等																		
都心共同住宅供給事業																		
公営住宅等整備																		
都市再生住宅等整備																		
防災街区整備事業																		
合計														895.6	895.6	895.6	0.0	895.6

... A

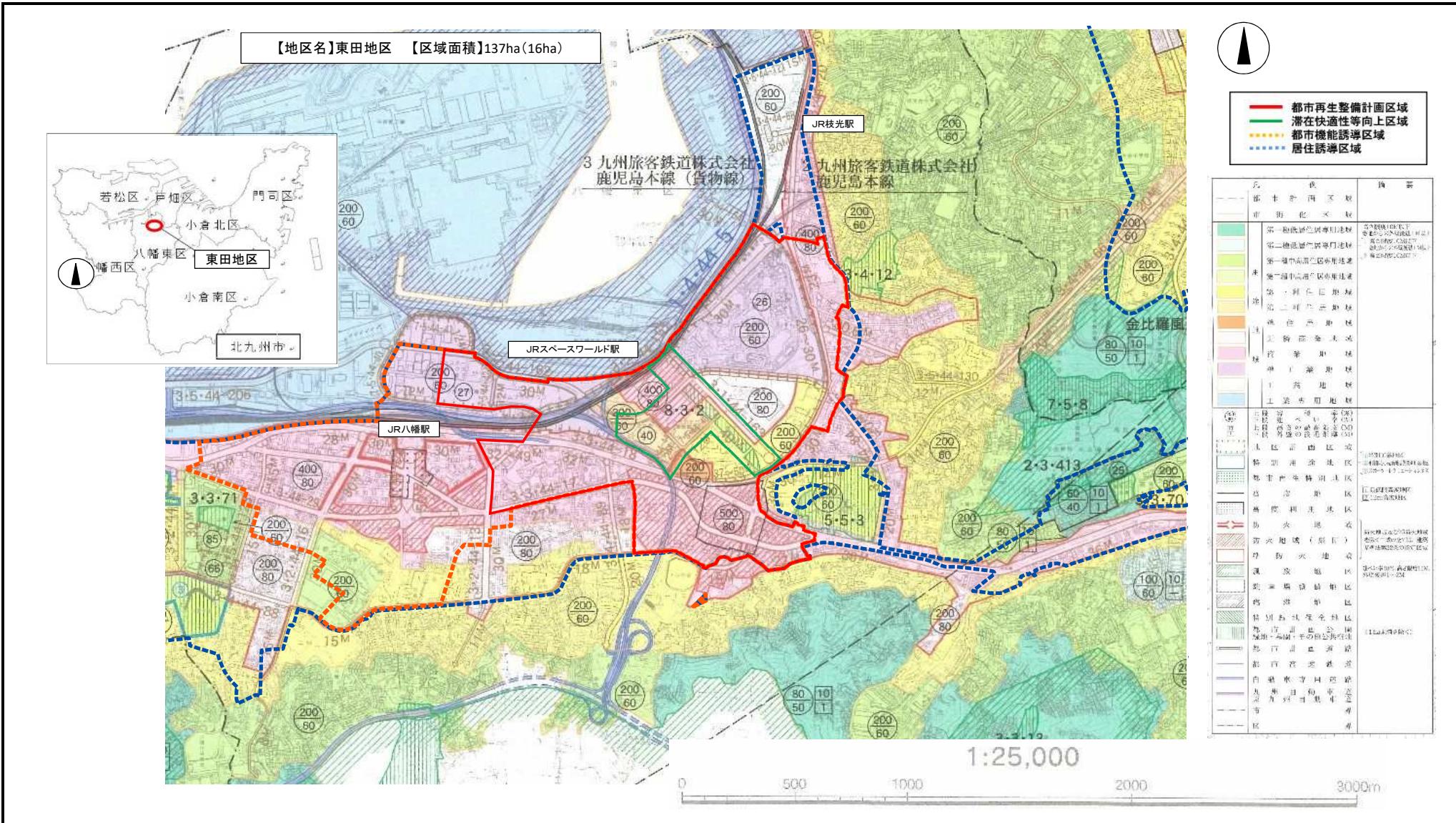
提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分	
地域創造支援事業													
事業効用調査	事業効果分析	事業効果分析業務委託	北九州市	直	一	3	7	3	7	11.4	11.4	11.4	11.4
まちづくり活動推進事業		賑わい空間創出実証実験	北九州市	直	一	5	5	5	5	2.0	2.0	2.0	2.0
合計										13.4	13.4	13.4	13.4
										合計(1.7)	0.0	0.0	0.0

全尺寸(A+B)

(参考) 関連事業

東田地区(福岡県北九州市)	面積 137 (16) ha	区域 八幡東区東田二丁目、東田三丁目、東田四丁目、中央二丁目等
---------------	----------------------	------------------------------------



## 東田地区(福岡県北九州市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	大目標 集客拠点に相応しく、来訪者に魅力的な都市環境の形成 目標1 観光施設、教育・文化施設、大規模商業施設などが集積する集客拠点の中核に相応しいゲート空間の形成 目標2 施設を歩いて巡りたくなる公共空間の形成	代表的な指標	東田の観光客数 (人/年)	727,000 (R1年度)	→	2,000,000 (R7年度)
			東田地区来訪者の平均滞在時間 (h/人)	1.2 (R1年度)	→	1.6 (R7年度)
			歩行者通行量 (人/日)	11,356 (R2年度)	→	13,000 (R7年度)

